

# ボランティアの受け入れについて

高齢者いきいき案内所

(香川県社会福祉協議会 地域福祉課)

誰もが暮らしやすい地域をつくり、すべての人々が地域で共に安心して暮らしていくために、今後は、幅広い年齢層の方々の活躍が重要と考えられます。その活動の場として、施設や団体は地域における大きな受け皿であり、ボランティアの受け入れを通して、新しい風が吹き込まれ、施設や団体の活性化が図られます。そして、地域の方々と活動をともにすることで、地域との結びつきを深め、施設や団体も地域の一部であることを多くの方に再認識していただけるのではないのでしょうか。そのような活動に結びつけるため、ボランティアの受け入れのポイントをご紹介します。

～事前に考えておくこと～

## 1) 施設にとってボランティアとは (受け入れの理念)

人手不足の解消ではない付加価値な存在という意識が、ボランティアを行う方々のやる気につながります。ボランティア活動を受け入れるさまざまな理由を全体でじっくり考えてみましょう！

## 2) 受け入れ体制は

ボランティア受け入れ担当者を配置し、ボランティアの活動内容を把握し、ボランティアが行き詰まっている時に的確な指示ができるようにしましょう。そのためには、職員間でのボランティア活動の申し送りを忘れずに伝えましょう。

## 3) ボランティアの紹介について

ボランティア活動をしていただく方を職員、利用者などにどのような形で紹介していくかを考えておきます。活動の前後に挨拶やお礼の場を設ける、ネームホルダーなどをつけてもらうなど、ボランティアであることがはっきりわかるような工夫をしてみましょう。

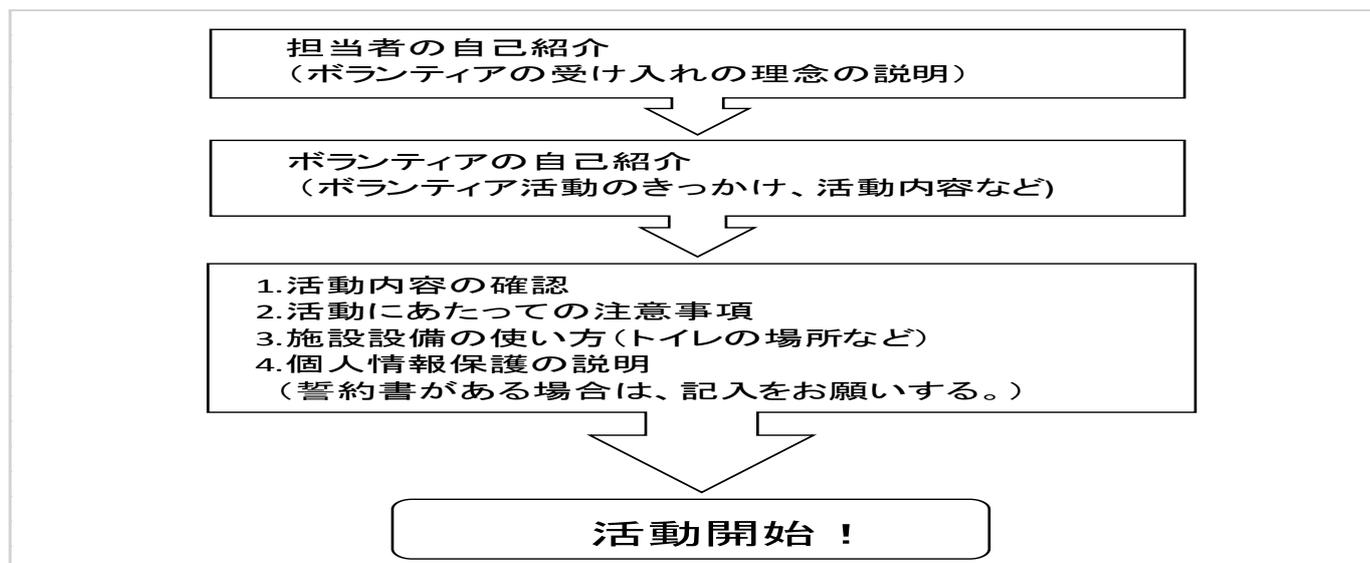
## 4) 希望の活動内容の確認

施設でお願いしたい内容を再確認しておきます。お願いする内容から起こりうる事故などを十分考慮し、施設内での事故責任は、ボランティアの勝手な行動以外は、指示者である施設に責任があることを十分に考えた上での活動内容にします。活動内容を見直しする場合は、必ず本人と内容についての話し合いの場をつくり、一方的な変更を行いません。

## ～活動直前

5) ボランティア希望者との面接の重要性 相手をしっかり、理解しましょう。

### ボランティアへのオリエンテーションの内容



※当案内所が紹介し、活動される方には、『ボランティアの活動にあたっての注意事項』と『連絡カード』を渡しています。『連絡カード』は活動時に携帯をお願いしています。緊急時等にお使いください。

6) ボランティアの食事について（基本的には持参か自己負担と伝えています。）

施設の雰囲気を理解するうえでも、利用者と共に食事をすることは大切な経験です。ただし介護・看護の有資格者以外のボランティアの食事介助は慎重に考えましょう。

7) ボランティアの交通費・手段について（基本的には自己負担と伝えています。）

活動のために施設に来ていただく事は、経済的な負担は生じます。ゆえに、活動を阻害する要因になることを考え、駐車場の確保や、送迎サービスの時間に合わせ同乗してもらうなど、出来る対応を考えましょう。

8) ボランティア活動保険について（ボランティアには自己負担で加入をお願いしています。）

ボランティア活動保険の補償対象は、自発的な意思による他人や社会への無償の活動です。無償の範囲は、昼食代やお弁当、交通費や費用弁償（昼食代や交通費など）の謝礼などです。活動に報酬や対価が発生するものは1円でも有償となり対象外です。謝礼の範囲についてはお問い合わせください。

また、活動される方が、保険に未加入の場合は、高齢者いきいき案内所から加入のご案内をお送りいたしますので、下記連絡先までお知らせください。

参考文献：社会福祉施設のボランティアコーディネーション指針 はじめの一步！

茨城県保健福祉部長寿福祉課 老人福祉施設におけるボランティア受け入れの手引きほか

## ～最後に～

活動が始まったら、ボランティアのフォローアップを大切に、気になることやお困りのことが出てきた時はご相談ください。

《連絡先》 高齢者いきいき案内所（香川県社会福祉協議会地域福祉課）  
月～金 8：30～17：15（土日祝日休み）

☎087-861-0546